



決算説明資料

2024年12月期 第1四半期

ISB CORPORATION

証券コード：9702

株式会社アイ・エス・ビー

連結損益計算書 (2024年2月14日時点開示より上方修正)



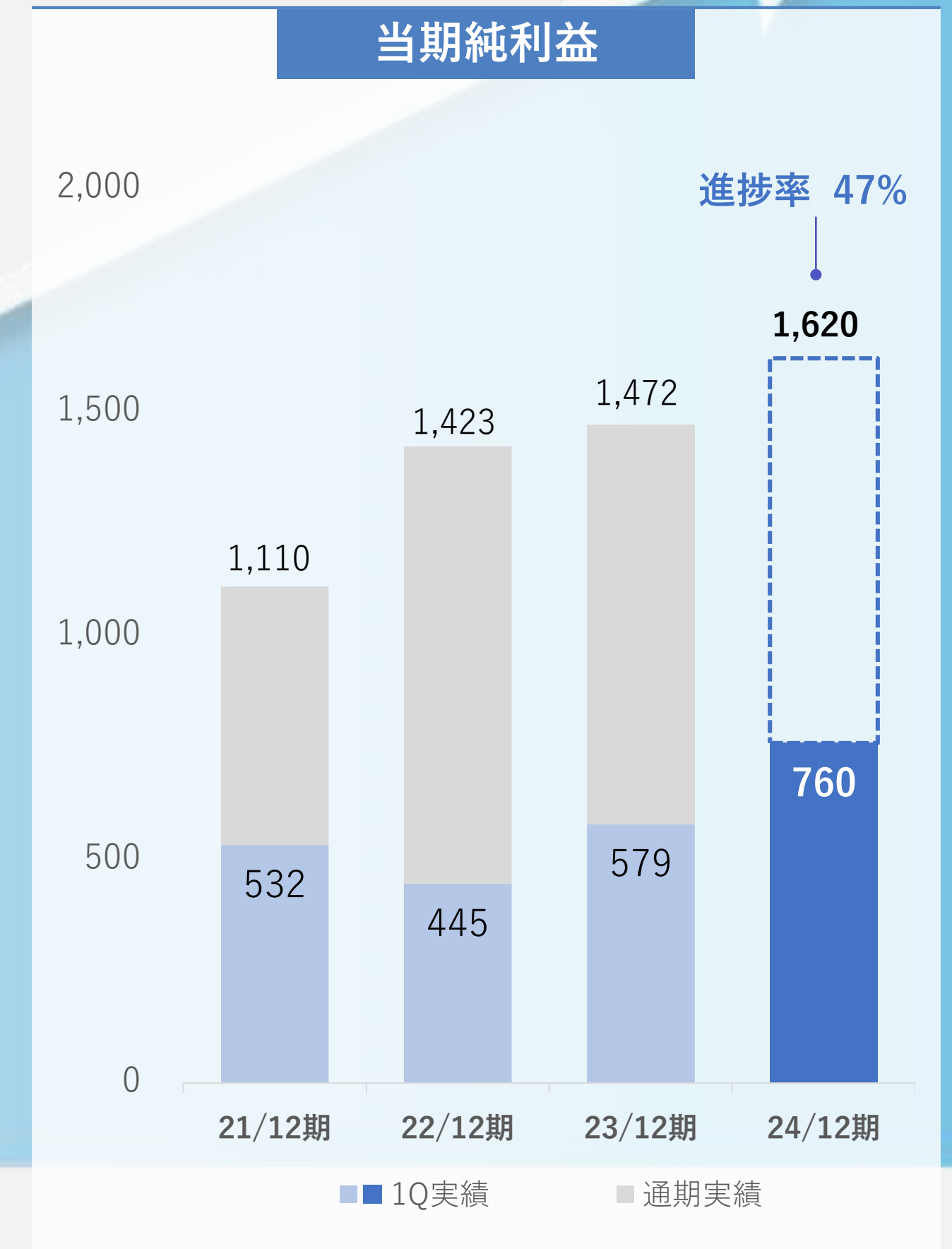
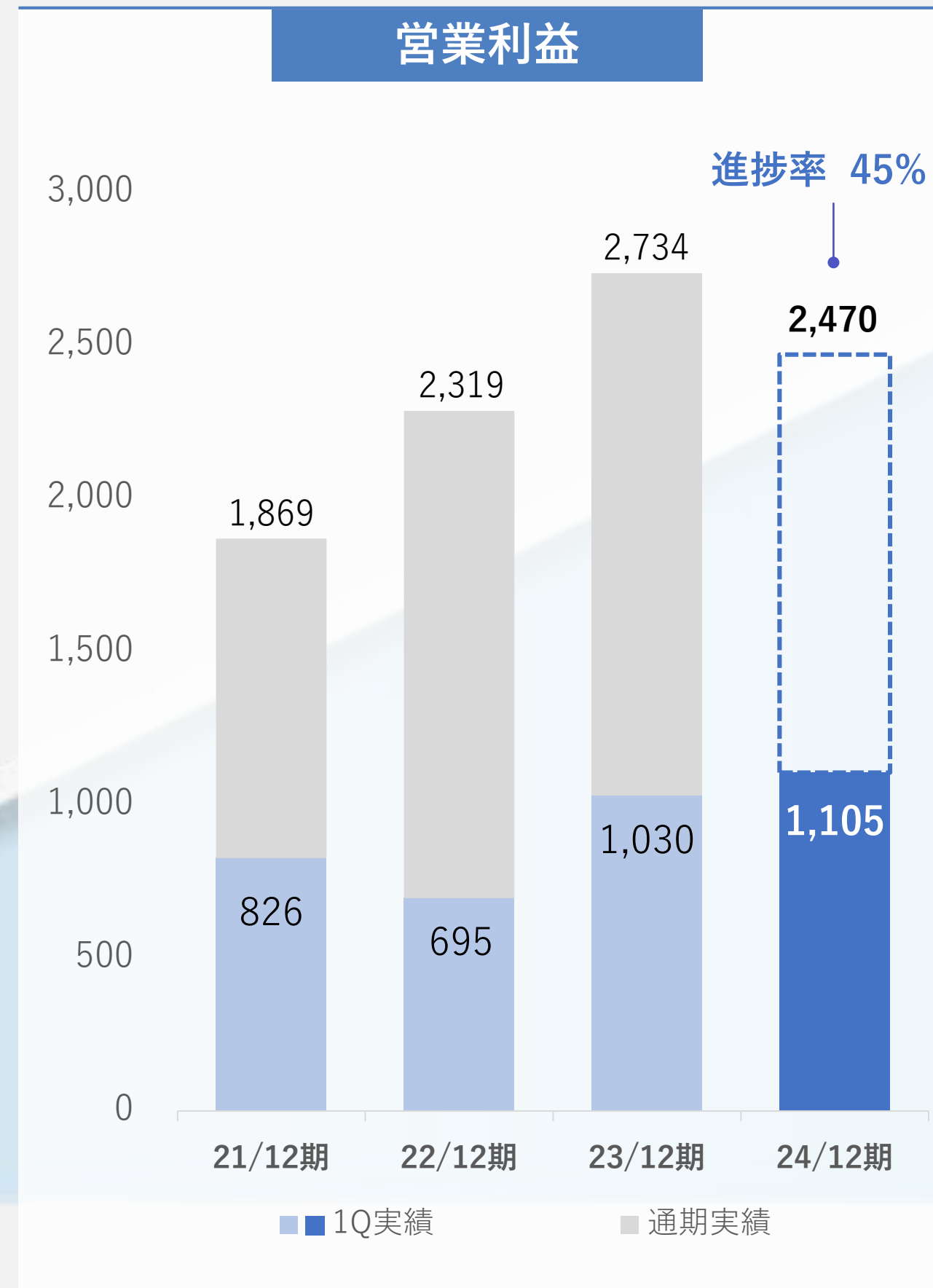
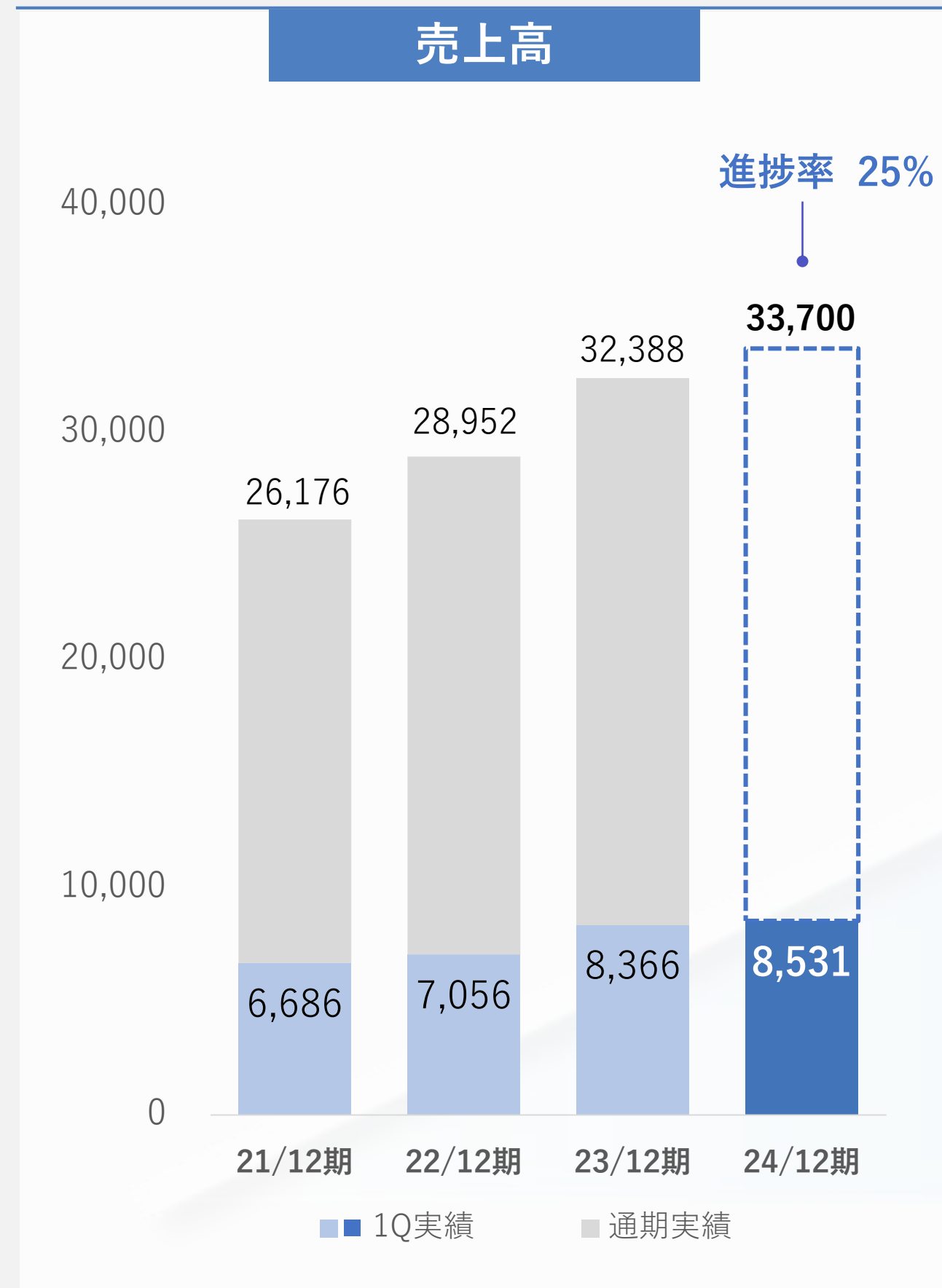
DX化推進の影響により、IT投資需要が高まる中、ビジネスインダストリー、エンタープライズの各分野で受注が堅調に増加し、前年同期比増収。調達コスト上昇や、人事戦略に係る投資、広宣費増加を吸収し、前年同期比増益。第1四半期の業績において、前期に続き創業以来の最高業績を更新。**通期業績予想を上方修正。**

(単位：百万円)

	第1四半期				通期予想		
	2023年	2024年	増減	前年同期比	前回予想	今回予想	増減
売上高	8,366	8,531	165	102%	33,500	33,700	200
営業利益	1,030	1,105	75	107%	2,320	2,470	150
営業利益率	12.3%	13.0%	0.7pt	-	6.9%	7.3%	0.4pt
経常利益	1,042	1,132	90	109%	2,400	2,550	150
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	579	760	181	131%	1,500	1,620	120

第1四半期の業績において、創業以来の最高業績を更新

(単位：百万円)

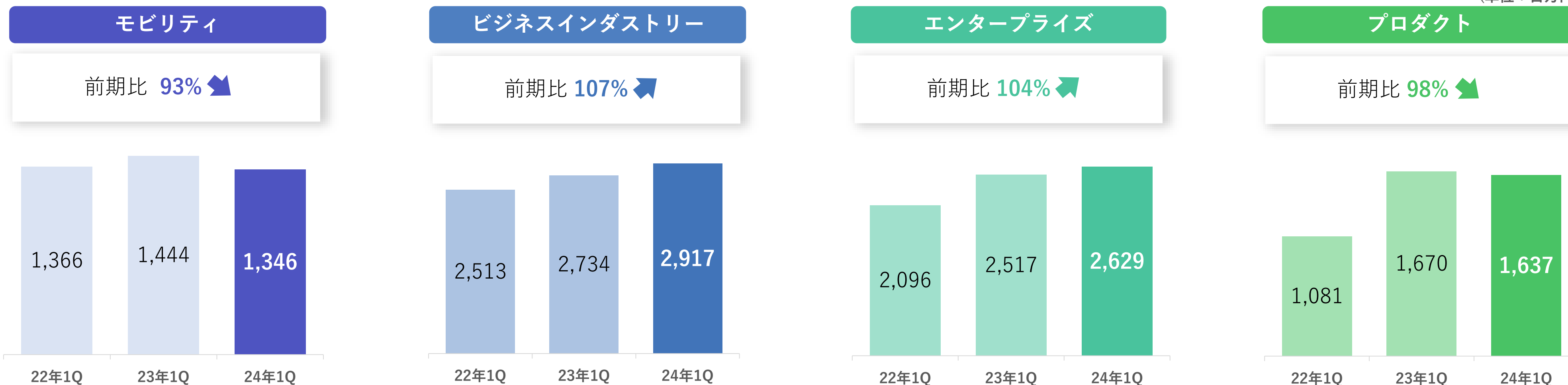


事業分野別売上高



モビリティ	車載系は、既存顧客からの受注が引き続き堅調に推移。 携帯端末、5G関連のモバイルインフラ、家電は、おおむね計画どおり縮小。
ビジネスインダストリー	DX需要は、引き続き旺盛。業務システムの受注のほか、医療クラウドが好調。 組込み系は、AV家電関連、IoT機器の受注が堅調。
エンタープライズ	ITインフラは、運用保守を含めたITインフラ構築およびシステム更改が好調に推移。 金融は、銀行系等の受注が好調。公共系は、横ばいと堅調。
プロダクト	セキュリティ関連事業は、主力製品は堅調も、人手不足の影響もあり工期の延び等により微減収。 MDM事業は、サイネージ機能を提供する端末販売、キッティングサービスが順調に推移。

(単位：百万円)





本資料は、2024年12月期第1四半期決算の業績に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めていただくことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2024年3月末時点の状況において作成しております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。